

# J R山陰本線（園部～綾部）沿線地域公共交通活性化協議会

## 開催結果（第14回）

### 1. 日 時

令和3年12月16日（木）午前9時30分から11時30分まで

### 2. 場 所

南丹市国際交流会館 コスモホール

### 3. 出席者

委員20名（うち代理5名）  
（別紙 出席者名簿参照）

### 4. 当日資料

別紙のとおり

### 5. 議 題

- (1) JR 山陰本線（園部～綾部）沿線地域公共交通計画中間案について
  - ・計画策定スケジュールについて
  - ・中間案の内容及びパブリックコメントの募集について
- (2) その他
  - ・次期計画の具体施策について

### 6. 主な発言

#### 〈協議事項〉

- 議題(1) 計画策定スケジュールについて  
○特に意見なし

#### 〈協議事項〉

- 議題(2) 中間案の内容及びパブリックコメントの募集について
- 車よりも公共交通の方が利用するのが大変である。現在車で移動している高齢者が元気なうちから、公共交通の乗車訓練をするようなプログラムが必要なのではないか。
  - 資料2-1と資料3で表現が統一されていない。資料2-1では「基本方針」であるが、資料3のP41～43の表では「施策方針」となっている。また、資料3には施策案に番号（例：①-1）が付いていない。
  - 通勤通学も日常生活交通の一つである。課題整理でも分けているが、一つにまとめて整理する方が良い。

- 基本方針と具体施策を1対1で対応させるには無理があるため、異なる整理方法とした方がよい。
- 問題点として「鉄道サービスのレベルは高くない」と記載しているが、利用状況に応じて運行本数を設定しており、何を基準としてサービスのレベルが高くないと判断しているか曖昧である。
- この5年間の取り組みの進捗を振り返り、実現したものについてはその時期を具体的に記載してはどうか。その記載内容については各委員が確認してはどうか。
- 地域公共交通の重要性の認識も皆で共有した方がよいので、方針①は「地域公共交通の重要性に関する認識をあらゆる主体・地域で共有し、協働して支え育む活動を活発化することで、地域公共交通システムを持続可能とする」としてはどうか。

### 〈協議事項〉

#### その他 次期計画の具体施策について

- 貨客混載は昨年度からのつながりを考慮して、「実施」ではなく、「事例研究」等の表現にした方がよいのではないか。
- 具体施策の説明は、自分たちが実施することのみを記載し、他地域の事例は示さない方がよい。
- モビリティ・マネジメントは、ターゲットを定めて実施した方がよい。住民と一括りにしているが、中高生の親や免許の返納を考えている人等ターゲットは複数ある。
- P51のデマンドタクシーや自家用有償運送の導入について、5年間の間に実施できる見通しがいつているのか。実施するのであれば、どこでどういうことをするのか具体的に書く必要がある。
- P53の「駅構内の段差解消等の実施」は、大がかりな段差解消やエレベーターの設置等をイメージさせるため、小規模な段差解消であることを明記した方がよい。また、解消すべき箇所の写真や具体的な駅名を明記すべき。

等